



「ワンマン運転の拡大について」の提案を受ける！

本日、会社より「ワンマン運転の拡大について」の提案を受けました。会社は提案の理由を「人口減少や技術革新の進展等の社会環境の急速な変化に対応する」としています。また、「JRとして鉄道は大事な事業であり、地域のことを考え鉄道輸送を守らなければいけない」「ワンマン運転は手法の1つ」としています。

ワンマンでもお客さまの求める安全・安定輸送、サービス、異常時対応のニーズは変わりません。安全と収益を確保して雇用を守るスタンスで向き合っていきます。

提案時における特徴点

- ・車載ホームモニタで、乗降を確認できる。ミラーよりもよく見える。
- ・ホームドアで人と車両を遮蔽することで安全度が上がる。
- ・車両への接近検知装置は、お客さまが利用の多い駅、構造によりお客さまが滞留する駅の箇所、補足的に導入する場合がある。
- ・ワンマン運転の拡大は線区の特情を考慮して進める。人、設備、ルールが揃った所から行う。
- ・線区、区間を限定せずにワンマン運転を実施する。

短編成 1～2両
・従来のワンマン



従前と同様に必要な設備を整備した上で拡大する

中編成 3～6両
・車載ホームモニタを整備する



提案された拡大部分
必要な車両の改造や
設備の整備、訓練などを
行ったうえで拡大する

長編成 7両以上
・車載ホームモニタ、ATO又はTASC、指令-客室間通話機能を整備する
・ご利用の多い路線ではホームドアを整備する



安全と雇用と鉄道を守るために職場から議論しよう！